

平成24年度（平成24年4月～平成25年3月） 渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

<p>「観光入込客数調査」について 道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」（H21年12月、観光庁）を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」（H9年1月制定に準ずる）に基づき実施しています。</p>
<p><調査対象市町村> 本調査は、全道の市町村を対象に調査しています。</p>
<p><実人数> 1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。 1人の観光客が1回の旅行で宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。</p>
<p><総数> 市町村の実人数の単純合計です。（実人数に対して、延べ人数となっています。）</p>

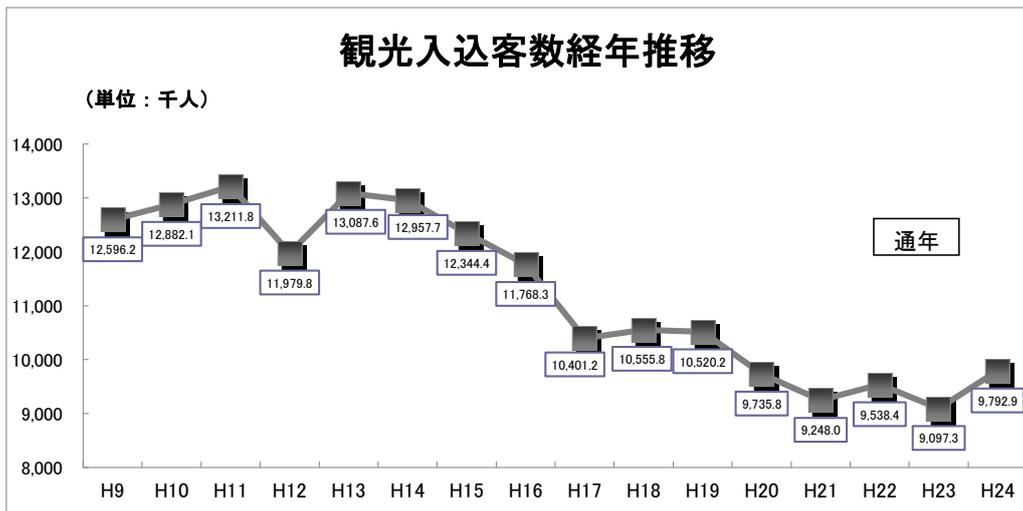
1 概況

- (1) 平成24年度の渡島管内観光入込客数の総数は、約979万3千人で、平成23年度に比べ約69万6千人の増加、対前年度比で107.6%となっています。
また、平成22年度と比べても、約25万5千人の増加、102.7%となりました。

（単位：千人・%）

H24	H23	H22	増減 (H24-H23)	H24/H23	H24/H22
9,792.9	9,097.3	9,538.4	695.6	107.6%	102.7%

- (2) 主要要因としては、東日本大震災の影響が緩和されたことにより、道外観光客を中心に入込客数が増加したことが考えられます。
また、道内観光客が好調に推移したことから、平成24年度は過去5年間でも最多の入込客数となりました。



2 道外客・道内客の状況

道内・道外観光客別では、道外観光客が約50万4千人の増加、道内観光客は約19万2千人の増加となりました。
昨年度においては、道外観光客の大幅な減少により、道内観光客の割合が大きくなりましたが、平成24年度においては、震災前の平成22年度とほぼ同様の割合に戻っています。

（単位：千人・%）

	H24	H23	H22	増減 (H24-H23)	H24/H23	H24/H22
道外客	4,798.7	4,294.6	4,702.3	504.1	111.7%	102.1%
道内客	4,994.2	4,802.7	4,836.1	191.5	104.0%	103.3%
各年度計	9,792.9	9,097.3	9,538.4			

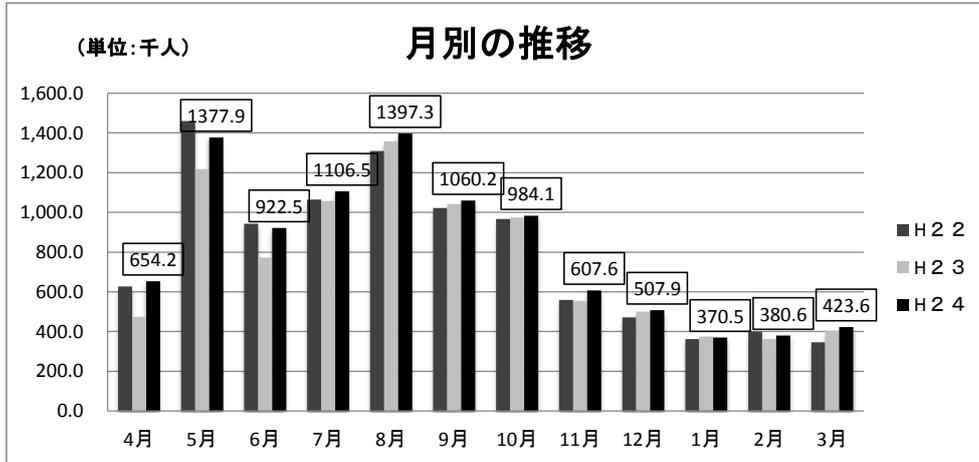
3 月別の推移

月別では、4月から3月のほぼ全ての月で前年度より観光入込客数が増加しています。特に、4月、5月、6月は、対前年度比で10%を超える高い増加率となっています。

これは、震災による影響が緩和されたことにより、道外観光客が大きく増加したことが要因と考えられます。

唯一1月だけは昨年度に比べ減少していますが、これは大雪で航空便やJRの運休が多発したことが影響したと見られます。

また、平成22年度と比べると、2月を除く下期すべての月で入込み数が増加しました。これは、11月に道央自動車道「森一大沼公園」が開通したことや、函館一台北国際定期便が就航したことなどが影響したものと考えられます。



4 市町別の状況

松前町など3町が前年度に比べ減少しましたが、函館市や七飯町など8市町では増加しました。

特に、函館市は39万3千人、七飯町は約24万4千人の増加となりました。

これは、震災による影響が緩和されたことにより、道外観光客が大きく増加したことが要因と考えられます。

また、平成22年度と比較しても、知内町や福島町など9市町で入込客数が増加しました。

(単位:千人・%)

	H24	H23	H22	増減 (H24-H23)	H24/H23	H24/H22
函館市	4,501.2	4,108.0	4,586.2	393.2	109.6%	98.1%
北斗市	693.2	657.9	643.1	35.3	105.4%	107.8%
松前町	454.7	483.3	503.6	▲ 28.6	94.1%	90.3%
福島町	74.0	72.5	64.6	1.5	102.1%	114.6%
知内町	158.8	154.3	137.8	4.5	102.9%	115.2%
木古内町	50.9	54.9	42.4	▲ 4.0	92.7%	120.0%
七飯町	1,777.7	1,533.9	1,578.7	243.8	115.9%	112.6%
鹿部町	202.3	219.4	189.8	▲ 17.1	92.2%	106.6%
森町	836.5	830.6	762.3	5.9	100.7%	109.7%
八雲町	518.1	458.3	509.5	59.8	113.0%	101.7%
長万部町	525.5	524.2	520.4	1.3	100.2%	101.0%
各年度計	9,792.9	9,097.3	9,538.4	695.6	107.6%	102.7%

平成24年度 渡島管内各市町観光客入込状況

(単位：[上段]千人 [下段]対前年度比%)

市町名	入込数	内 訳				主な増減要因等
		道外客	道内客	日帰客	宿泊客	
函館市	4,501.2	2,964.0	1,537.2	1,510.0	2,991.2	昨年度については、震災の影響から国内における観光の自粛や原発事故の風評被害により、観光入込客数が大幅に減少したところであったが、平成24年度は前年度観光客が激減したことによる反動増はもちろんのこと、大型コンベンションの開催、海外からのチャーター便・定期便の回復等により、入込客数が増加した。9月、10月と相次いで函館-台北線が定期便化し、以降、台湾人観光客が好調となった。11月には道央自動車道「森一大沼公園」が開通。バス・乗用車による道央と道南のアクセスが一層向上した。その後12月以降の大雪と低温により観光入込客数は鈍化したものの、年間を通じて復調した。
	109.6	113.9	102.0	110.4	109.2	
北斗市	693.2	30.6	662.6	670.0	23.2	5月の「桜回廊イベント」開催により入込客数の増。冬イベントの増(ローマへの道冬物語)による入込客の増。
	105.4	109.7	105.2	104.9	119.0	
松前町	454.7	94.9	359.8	402.2	52.5	観光客の入りこみの主要な期間である5月の「松前さくらまつり」は、開花はほぼ前年並みであったものの、桜前線の北海道上陸とともに気温の高い日が続き、全道的に一気に開花したことや、ゴールデンウィーク中の土砂崩れ災害の発生による幹線道路の遮断により、道央方面からの客足が低迷したことが減少につながった。また、9月以降まで続いた猛暑の影響による出控えなども窺える。震災直後からの減少ペースがやや緩和したものの、回復力が乏しい状態が続いている。また、東北全体の安全性や魅力を国内外に発信する復興支援を目的としたキャンペーン等が、東北各地で開催され、観光客の足が東北に向けたことが減少の要因と見られる。
	94.1	94.1	94.1	93.5	98.5	
福島町	74.0	7.0	67.0	71.8	2.3	昨年は東北大震災等の影響により記念館来館者が減少していたが、今年度上期にかけての横網・トンネル記念館来館者数が昨年度より約5%増となった。また、昨年度オープンした海峡横網ビーチについては昨年並みの来場者数で推移しており、上期全体観光客入込数も昨年度並みに推移している。横網・トンネル記念館ともに前年度とほぼ同入館者数となっており、前年度対比とほぼ同じくらいの観光客入込数として推移している。
	102.1	98.6	102.4	102.4	95.8	
知内町	158.8	49.4	109.4	143.9	14.9	4~6月の増加要因は、道の駅しりうち物産館の特産品販売コーナーの取扱い商品充実により、来館者が増加したものとされる。この季節の来館者については、松前町への花見客が大半を占める。8月の増加要因は、イベントへ当町出身の北島三郎氏等が出演したことにより来場者が増加した。10月の減は産業まつりの入込の町外率の見直しによるもの。11~1月までは町内施設の入込減、2月の増はカキニラまつりの来場者増に伴うもの。
	102.9	112.3	99.2	103.0	102.1	
木古内町	50.9	5.4	45.5	48.6	2.3	少年野球等のスポーツ大会開催減や参加者減が考えられる。道外客・宿泊客の増はイベントの観光入込客数が増加したため。
	92.7	128.6	89.7	91.5	127.8	

※下段は対前年度比

市町名	入込数	内 訳				主 な 増 減 要 因 等
		道外客	道内客	日帰客	宿泊客	
七飯町	1,777.7	1,167.5	610.2	1,712.0	65.7	震災の影響を受けた前年と比較すると、4月～6月期が大幅に回復、特に団体(ツアー)客に入込回復の兆しがみられた。上期同様に、10月～12月にかけては、入込回復傾向が継続しているものの、冬季に入り1月は前年比96%という結果となった。冬季間中は、休業や営業形態の変更、気象条件面などから入込数は激減するが、前年対比率は1月を除き上昇している。また、そのような中、高速道路開通の影響が「個人客の入込は増加傾向であったのではないか」という声も聞かれた。
	115.9	108.4	133.5	116.6	100.3	
鹿部町	202.3	22.3	180.0	149.6	52.7	5月に発生した道道43号線の土砂災害により入込数が減少した。また8月開催の「しかべ海と温泉のまつり」の入込は減少となったが、鹿部ロイヤルホテルの宿泊客数は増加した。 下期は、冬期間の大雪・寒波により道内客が減少。町内バス道路工事が観光施設へのアクセスの妨げになったことも影響したと見られる。
	92.2	167.7	87.3	88.8	103.5	
森町	836.5	143.5	693.0	767.1	69.4	昨年度、楽市楽座もりまち食KING市は5月、6月、7月(上期)開催をしたが、今年度は5月、7月の2回開催であった。加えて、道央自動車道森IC開通(平成23年11月26日)により、道の駅YOU・遊・もりへの入込が落ち込んだため道内客が減少したものの、全体を通してはおおむね前年と同様となった。
	100.7	114.7	98.2	101.1	96.9	
八雲町	518.1	137.9	380.2	499.8	18.3	震災の影響から復調して全体的にほぼ毎月前年度対比で増加となっている。 7月の増加率が高いのは山車行列30周年で入込数が増加したため。 パノラマパークの来場者数が過去最高(年間50万人超)を記録したことによる。
	113.0	114.7	112.5	113.9	93.8	
長万部町	525.5	176.2	349.3	508.5	17.0	外国人団体観光客が減少したものの、景気回復の兆し等による国内旅行者の増加によりほぼ前年並となった。
	100.2	101.3	99.7	100.5	93.9	
合 計	9,792.9	4,798.7	4,994.2	6,483.5	3,309.5	
	107.6	111.7	104.0	107.3	108.3	

※下段は対前年度比